

令和7年度 第3回阿見町地域福祉計画策定委員会 議事録

日 時:令和7年12月11日(木) 午前 10 時から 12 時まで

場 所:阿見町役場3階 305 会議室

出 席:松田委員長、武藤副委員長、下司委員、新橋委員、青山委員、佐藤委員、田邊委員、
大竹委員、加川委員、武井委員、苫米地委員、荒井委員、小林委員、戸井委員
(欠席:笠井委員)

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1)基本理念

《事務局から基本理念の説明》

《質疑応答》

田邊委員

事務局提案の基本理念からは、具体的な町民の行動がイメージできない。前回の第3次計画の「一人ひとりが地域の担い手 とともに支え合い、助け合う 地域共生のまち あみ」を引き続き基本理念とする形でよいのではないかと思う。

武藤委員

田邊委員のご意見のとおり、事務局案には具体的な部分が少ないと感じる。阿見町におけるSDGsの考え方についてはまだまだ醸成していないと考えているため、第3次計画の基本理念を踏襲する形でよいと思う。

松田委員長

総合計画の中に SDGsの考え方も含まれていることから、折衷案として「持続可能な地域福祉を目指して 一人ひとりが地域の担い手 とともに支え合い、助け合う 地域共生のまち あみ」というのはどうか。

武井委員

SDGsは町のトレンドになっているようなので、「誰一人取り残さない」という文言を入れるのはどうか。

松田委員長

今のお話を受けて、「誰一人取り残さない 一人ひとりが地域の担い手 とともに支え合い、助け合う 地域共生のまち あみ 」を提案したいと思う。

→異議なし、承認

(2) 取り組み事案

《事務局から基本理念の説明》

《質疑応答》

田邊委員 計画への意見書

(計画に記載されている取組について)

地域での取組について、町が先導して旗を振ってほしい。また、計画全体を見ても支え合いや助け合いの取組が少なく、事業についても生活支援体制整備事業のみが記載されている状態なので、町の具体的な取組を入れてほしい。

(移動手段に関する要望)

地域住民の利便性の向上のため、コミュニティバスの導入をお願いしたい。

松田委員長

今お話のあった生活支援体制事業について、なにかできることがないかお聞きしたい。

小林委員

町から委託を受けて生活支援コーディネーター事業を実施している。実施内容としてはケアリーダーの育成など、地域住民が活動をしやすいような支援がメイン。

松田委員長

生活支援体制事業の具体的な取組について計画に反映できればと考える。

田邊委員

やはり町が先導して旗を振って、行政区単位で課題に対応できるような体制を構築してほしいと思う。

荒井委員

行政区への支援については、施設の修繕費用の補助や、区長の活動をバックアップする支援を町民活動課で実施している。

新橋委員

行政区が抱える課題は移動手段の課題から防災・防犯の課題まで幅広く、庁内では組織が縦割りになっていることから連携が難しい。地域福祉計画において連携体制をしっかりと定めておくことや、取組や方向性について行政区に説明の上、協力を要請していく必要があると思う。

武藤副委員長

行政区の加入率が下がっているという課題に対して、町が具体的な施策を打ち出していない事について歯がゆく感じる。自主防災組織については自治会とは別の組織になるが、トップを兼任していることがある。その場合は自治会長が変更になると自主防災組織のトップも変更になり、継続的な取組が困難となる。町においては、関係各課の連携を強め、自治会への加入率を上げる取組を実施していただきたい。

荒井委員

町民活動課にて自治会に対するアンケートを実施しており、現在課題を取りまとめているところ。基本理念に関する議論でも挙げたように、「誰一人取り残さない」ということについては福祉全般に関わる方針なので、少数の意見も汲み取っていく必要がある。

計画を策定する上では、緊急度・重要度別に課題を抽出して一つずつクリアしていくような仕組みづくりが重要であると考えている。

武藤副委員長

第7次総合計画の期間内においてはあみまるくんの実証実験を進める方針であるということについて、町議会にて回答を頂いている。

田邊委員

近隣の市町村はコミュニティバスを導入していることから、阿見町でもコミュニティバスを導入してほしい。

佐藤委員

私の地区でも、移動手段が問題になっている。移動手段への対応について、町へ要望を上げ続けていきたい。

武井委員

教育委員会にて以前から学社連携事業¹を実施しているので、取組に追記してほしい。

事務局

学社連携事業について担当課に相談の上、追記できたらと考えている。

(3)評価について

《事務局から評価の説明》

《質疑応答》

なし

(4)パブリックコメント

実施結果を次回策定委員会で提示する。

閉会
